

今月の主要経済指標

目 次

今月の経済関係統計資料		
1 宮崎県景気動向指数	1
2 宮崎県の鉱工業指数	2
3 みやざきの賃金・労働時間・雇用の動き	3
4 宮崎市の消費者物価指数	4
【参考】		
・ 「月例経済報告」抜粋	5
・ データ編	6

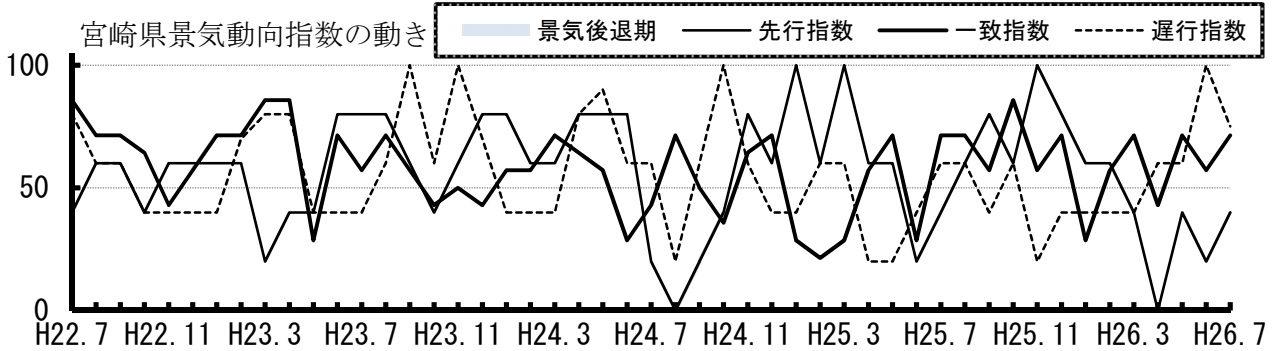
平成26年10月

宮崎県総合政策部統計調査課

1 宮崎県景気動向指数（平成26年7月分）

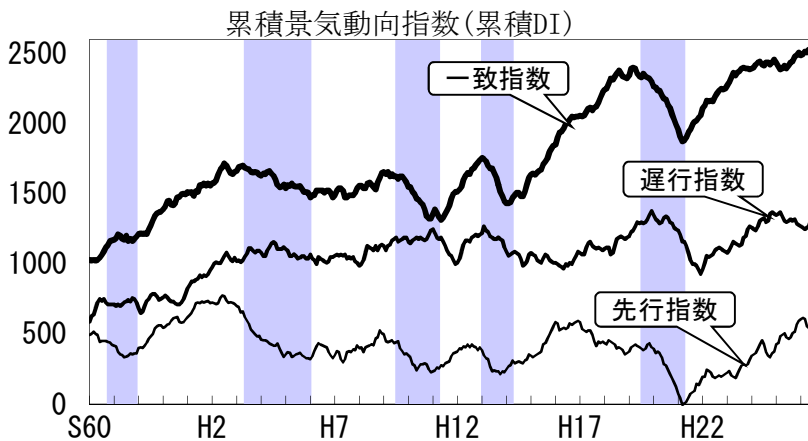
(1) 今月の動き

平成26年7月の本県のDIは、
 先行指数は 40.0%となり、5か月連続で 50.0%を下回った。
 一致指数は 71.4%となり、3か月連続で 50.0%を上回った。
 遅行指数は 75.0%となり、4か月連続で 50.0%を上回った。



	採用 指標数	拡張 指標数	プラスの指標（拡張指標）	マイナスの指標
先行系列	5	2	鉱工業在庫率指数(逆)、新設住宅着工戸数	新規求人数（パート含む）、新車登録台数（乗用車）、ホテル・旅館宿泊客数
一致系列	7	5	有効求人倍率、大口電力使用量、大型小売店販売額(実質)、鉱工業出荷指数、輸入通関実績(実質)	鉱工業生産指数、雇用保険受給者実人数(逆)
遅行系列	4	3	鉱工業在庫指数、家計消費支出（勤労者世帯）、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）	資本財出荷指数

(2) 累積景気動向指数



シャドウ部分：景気後退期

- 見やすくするため、先行指数には 500、一致指数には1000、遅行指数には 600をそれぞれ加算している。

(参考)

景気動向指数：景気が上向きか、下向きかを総合的に示す指数である。50%を上回って推移しているときは景気拡張局面、下回って推移しているときは景気後退局面と判断される。

累積景気動向指数：各指数から景気判断の基準となる50を引くことで、景気の拡張・後退の動向だけを確認することができる指数である。

